

根来山げんきの森倶楽部

令和6年9月作業日誌

活動日：令和6年9月15日(日) 9:30~15:00 天気：晴れ 倶楽部員：35人

今月は小雨模様の中の作業となりました。いつものベテランメンバーに加えて、5歳のちびっ子から近畿大学の学生さんまで、なんとも愉快的な組み合わせでした。翌日の観月会は天候に恵まれ大盛況。ゲストのイマニシユカさんの歌声が届いたのか、お月様は美しく輝いていました。

うるし谷整備

雨上がりで、陽射しは無く、比較的作業がしやすい一日でした。

参加者は6名。

作業内容は、こぶし川の護岸補強と草刈りと言う、うるし谷の必須作業です。

こぶし川護岸の杭は常に水に浸かっている為腐りやすいので、まめに補強杭を打ち込んでいく必要があります。あらかじめ用意しておいた杭を、2人1組となり打ち込みました。単純な作業ですが、カケヤを杭の芯にあてないと中々上手く入っていきませんので、ちょっとしたコツとパワーが必要となります。

この作業は、午前中で無事に終わりました。

もう一つの作業、草刈りは終日行いました。

まず、うるしの木とうるしの木の伸びた根から出ている幼木の周りをそれぞれ約1m位鎌で手刈りをしました。幼木は20cm位の高さなので、草と一緒に刈ってしまわない様に気を付けながら行いました。この作業が済んだら、ようやく刈払機の出番です。

いつもの事ですが、主に草刈りは暑い時期の作業が中心ですので、本当に大変なのですが、刈り終えた後の景色は何ともキモチが良いものです。今日もこの広い広いうるし谷で、キモチ良さを存分に味わう事が出来ました。

健やかなうるしの木の成長と、いつ訪れても癒してもらえる空間、風景であってもらうために、これからもしっかりと草刈りを続けていきたいと、今日はいつもより強く思いました。

みなさま、お疲れさまでした。 (by 草刈大臣 林 哉也)

炭出し

本日は、奉仕実習の近大生3名を含み11名の参加で炭出し作業を行いました。天気は小雨となり、先ずはブルーシートで屋根作りから始まります。今回も新規ユーザーから25cmで納入してほしいということで製品を箱又は紙袋に入れていきました。その結果、長尺炭175kg 一般炭60kg 合計235kgの出来高となりました。午後からは、炭材作りを行いました。近大生がオペレーターになり順次炭材を作ってもらいました。また薪割り作業も経験してもらいました。皆様お疲れさまでした。 (須山 佳則)



里山整備

今月は土仏線沿いに茂ったアラカシを伐採しました。ベテランメンバーから5歳のちびっ子メンバー、熟練メンバーに近畿大学生も入ってバラエティー豊かな10名で車道沿いで株立ちになって視界を遮り始めてるアラカシを選んで切っていきます。

伐倒専門員が切り倒したアラカシはロープで引き出し、ナタで枝払いできるサイズに切り分けて枝を落としていきます。アラカシは炭材にもなるので、1.2mに切断して軽トラに積み込んでいきました。太くて重いアラカシもあって、それらは軽トラにロープを結び付けて引き出しました。5歳のちびっ子メンバーもノコギリを使って上手に枝を伐っていきます。将来有望な作業ぶりでした。

途中で、スズメバチが飛び回り始めて、殺虫剤を振りかけながらどこから出て来てるのか確認すると地面の穴から比較的珍しいモンスズメバチが飛び出してくれています。かわいそうですが、来園者も歩く道沿いなので駆除しておきました。

この日は軽トラ2台分の炭材を作って炭焼き広場に届けました。伐採跡地はアラカシの圧迫感がなくなり、冬の落葉の季節になれば見通しもよくなるはずです。また、来月も続きの作業を行いましょう。 (岡田 和久)



↓月の形と満ち欠けによる呼び名

季節や気象、時間の経緯などによる呼び名↓



- 春月 (しゅんげつ)
- 夏月 (かげつ)
- 秋月 (しゅうげつ)
- 冬月 (とうげつ)
- 朧月 (おぼろづき)
- 寒月 (かんげつ)
- 雨月 (うげつ)
- 無月 (むげつ)
- 薄月 (うすづき)
- 孤月 (こげつ)
- 淡月 (たんげつ)
- 青月 (せいげつ)
- 明月 (めいげつ)
- 朗月 (ろうげつ)
- 皓月 (こうげつ)
- 素月 (そげつ)
- 夕月 (ゆうづき)
- 黄昏月 (たそがれづき)
- 残月 (ざんげつ)



9月16日、中秋の名月には一日早い夜でしたがげんきの森のお月見コンサートを開催しました。朝からの準備も整い、やれやれと思っていた17時ころからしよぼしよぼと雨が降り始め心配しましたが18時前には止んでくれて無事に開催できました。

今年のコンサートはシンガーソングライターのイマニシ ユカさん。優しげなのに底の方に力強さも感じる歌声で、月夜の森の雰囲気ぴったりの不思議でかわいい歌の数々を披露してくださいました。歌声に誘われるように雲の隙間から時々顔を見せていた月もフィナーレの頃には煌々と私たちに照らしてくれていました。

コンサート前には私たちの整備した森を散策したいとおっしゃられて、バリアフリートレイルを歩いたのですが、すごく楽しまれていました。

コンサートが終わってからは、倶楽部にと寄付までしてくださいました。私たちのボランティア活動についてこれだけ評価して下さった演者の方は初めてです。

いいお月見の夜でした。 岡田 和久

